

地域需要創造型等起業・創業促進補助金採択者事例

板野 千恵(いたの ちえ)氏 【地域需要創造型起業・創業】(群馬県)

重要伝統的建造物である旧織物工場を活用し、日本に数台しかない特殊紡績機で紡いだ糸と塩縮加工等の高い技術を活かして、独自開発したシルク製商品の提供

【事業テーマ】 織物工場を活用した特殊加工シルク製商品の開発及び製造小売と体験教室の展開

【設立日】 平成 25年7月31日 【創業の場所】 群馬県桐生市

【創業を志した経緯・きっかけはなんですか？】

群馬県桐生市は古くから絹織物産地として栄てきましたが、産地は衰退の一途をたどっています。しかし、現在でも繊維製造の各工程の職人がかろうじて現存しており、その技術は国内繊維産業における貴重な財産です。この技術を保存するためには、技術伝承だけでなく、現代のニーズに合った新しい商品開発への応用による技術発展とビジネス化が必要不可欠と考え、本事業を開業することを決意しました。

【現時点での事業展望を教えてください！】

- 桐生新町は国の重伝建指定を受け、地元自治体も産業観光の推進に注力していることから、訪れる観光客も増えつつあります。こうした環境から、以前に私の実家が絹製品製造業を営んでいた際に使っていた生産設備を再利用し、観光客や地域住民が気軽に集まれるものづくりの場をつくりたいと思います。

- ビジネスとして成功すれば、おのずとPR効果も生まれ、技術伝承にも繋がってゆくはずです。

【創業補助金活用のために支援を受けた機関】

(認定支援機関) しのめ信用金庫 経営相談部

(支援内容) 事業計画の作成、毎月1回のヒアリングによるフォローアップ

